

(仮訳)

日本とコソボ共和国との協力に関する共同声明

2014年4月14日、ハシム・サチ・コソボ共和国首相の訪日に際し、安倍晋三日本国内閣総理大臣とハシム・サチ・コソボ共和国首相は、コソボ共和国の独立以来継続的に存在してきた両国の友好関係を改めて確認した。また、両国間の協力促進の観点から、以下の声明を発出した。

1 コソボ共和国独立以降の二国間関係

両首相は、コソボ共和国の独立以来、両国が政策対話、経済・文化・人物交流、地球規模課題に関する協議等を通じて幅広い協力を深化させてきたことを再確認した。また、両首相は、民主主義、人権、法の支配という基本的価値に対する揺るぎない支持を基盤とした二国間の協力を再確認した。この点に関して、サチ首相は、広く認知されている日本の平和的な方針への認識を示しつつ、日本が「積極的平和主義」により世界とアジア太平洋地域の平和と安定へ向け更に貢献しようとする取組への強い支持を表明した。

2 経済協力

サチ首相は安倍総理に対して、日本の14億円を超えるODA支援に深い感謝の意を表明した。安倍総理は、コソボ共和国のニーズに基づき、人材育成や環境改善を含む社会・経済基盤安定化のための経済的支援を今後とも続けていくことを表明した。

両首相は、日本側が新規円借款実施の検討を開始する前に、コソボ共和国が独立以前に所属していた国家からの条約や国際約束の承継の問題が解決されなければならないとの原則で見方が一致した。サチ首相は、コソボと第三国との間で、相互が満足する方法で条約や国際約束の承継が行われた事例が存在していると述べた。

3 文化・人的交流

両首相は、サチ首相の訪日に合わせて、日本・コソボ友好議員連盟が発足したことを歓迎した。

両首相はまた、柳澤寿男氏がコソボ・フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者を務めていることを歓迎した。サチ首相は、日本による一般文化無償資金協力案件「コソボ・フィルハーモニー交響楽団楽器整備計画」に対する謝意を表明した。

4 ビジネス促進

サチ首相は、日本企業にとってのコソボ共和国が有する投資先としての潜在力につき言及した。この関連において、両首相は、2013年11月22日に日本貿易振興機構（JETRO）とコソボ投資促進庁の共催で投資フォーラムがウィーンにて開催され、日本の企業関係者に対して、ニカイ・コソボ貿易・産業副大臣（当時）によるコソボの投資環境の紹介が行われたことを歓迎した。

5 コソボのEU加盟プロセス

安倍総理は、民主主義・人権・法の支配の促進の観点から、コソボ共和国による改革に向けた取組と将来的なEU加盟への支持を表明した。また、この観点から、EUとコソボが安定化・連合協定の締結交渉を開始したことを歓迎すると述べた。

また、安倍総理は、コソボ共和国とセルビア共和国の関係正常化に向けたサチ首相の取組に対する支持を表明した。

2014年4月14日 東京

（署名）

日本国内閣総理大臣
安倍晋三

（署名）

コソボ共和国首相
ハシム・サチ